



「令和6年度 学校教育自己診断アンケート」の結果について

ご協力頂きました今年度の「学校教育自己診断アンケート」の結果についてご報告いたします。まず、児童、保護者共通の質問を見てみます。

項目「学校に行くことは楽しい」では、各学年「楽しくない」の割合が10～20%の割合となっています。「楽しい学校」とは何かを念頭に授業改善を進めていきます。

項目「授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。」は、児童・保護者間の差は減少し、児童アンケートでは対前年比3%増です。本校の研究テーマの副題「協働的な学び」として、子ども達が自由に「学ぶ場所」「学ぶ相手」などを自己決定して対話する時間を確保してきました。そのためにも、子ども達自身が落ち着いた学習環境を意識できるように声掛けしてきました。この協働的な学びの時間の設定の狙いは、「学ぶことが楽しい」と実感できる瞬間をたくさんつくることです。次年度、更にこのような学びの形態を増やすためにも、落ち着いた学習環境の構築に励みます。

以下に児童・保護者間の差が大きいものについて述べます。

項目「自分で計画を立てて勉強している。」について本校では授業と家庭の宿題がシームレスな学びになるように、自分で学んだり計画的に自学自習したりできる「自律的な生き方」に力を入れております。保護者以上に子ども達は学ぶ姿勢を意識しているようです。

項目「家で、よくタブレットを使って学習している。」について、学年の差も1年生が71%に比較して6年生が42%という結果でした。学校での使用の差は逆ですので、校内でも状況を把握していきます。

項目「家や地域の図書館、学校の図書室で読書をしている。」については、学校図書館司書の先生の配置、絵本広場の実施、読書ビンゴ、本校版「読書ノート」等の取り組みにより一定数児童は本に親しんでいるようです。しかし、1年生が87%に比較して6年生が53%という結果でした。保護者による読み聞かせを一部の学年で始めました。高学年にも読み聞かせが有効かもしれません。

項目「交換授業は良かった。」について、学年の差として低学年に高い傾向が見られました。(1年生94%、2年生90%、3年生92%、4年生、79%、5年生83%、6年生83%)。保護者の皆様からお子様へ、交換授業の様子を聞いて頂ければと思います。

令和6年度 学校教育自己診断アンケート 質問内容	肯定的回答率(%)	肯定的回答率(%)
	(児童用)	(保護者用)
学校に行くことはたのしい。	83.4	85.1
先生は私たちの話や考えをよく聞いてくれる。	93.0	95.9
授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。	70.5	76.7
授業はわかりやすい。	90.8	96.3
自分で計画を立てて勉強している。	75.5	50.8
あなたは、学校生活や友達のことを、おうちの人によく話す。	86.8	95.4
あなたはあいさつや約束を守ることを大切にしている。	93.3	92.8
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。(保護者質問18と比較)	95.3	97.4
タブレットを使った授業はわかりやすい。	93.8	93.1
家で、よくタブレットを使って学習している。	57.9	78.2
家や地域の図書館、学校の図書室で読書をしている。(どくしょがすきだ)	71.3	60.9
交換授業は良かった	87.1	66.7

令和6年度 学校教育自己診断アンケート 質問内容（保護者用）	R6年度 肯定的回答率(%)	R5年度 肯定的回答率(%)	対前年(%)
1 お子さんは学校へ行くのを楽しみにしている。	85.1	89.0	▲ 3.9
2 先生は子どもの意見や考えを大切にしている。	95.9	94.7	1.1
3 学校は落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている。	76.7	76.3	0.4
4 先生は分かりやすい授業づくりに努力している。	96.3	96.1	0.2
5 学校は、ICT 機器（タブレット等）を使った分かりやすい授業を行っている。	95.2	93.2	2.0
6 学校からタブレットを活用した家庭学習が出されている。	78.2	72.1	6.1
7 学校の様子や内容が、学校・学年により、ブログ等でよくわかる。	92.4	92.3	0.1
8 基礎学力の充実・定着のための少人数指導は、子どもにとって分かりやすい（6年）	93.0	86.2	6.9
9 学校は PTA や地域の方々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。	98.4	94.9	3.6
10 学校は保護者や地域の人々との交流に積極的である。	93.8	90.9	2.9
11 学校は保護者の相談に応じてくれる。	95.4	93.2	2.2
12 担任は、子どもの能力・努力を適切に評価している。	96.0	94.7	1.3
13 担任は、いじめのない学級づくりに取り組んでいる。	94.4	93.5	0.9
14 担任は、家庭への連絡など意思の疎通を図ろうとしている。	91.3	90.6	0.7
15 あなたは子どもと学校の様子を話す時間がある。	95.4	96.2	▲ 0.8
16 あなたは参観や懇談に参加している。	94.6	95.9	▲ 1.3
17 お子さんはあいさつやルールを守ることなど、行動の基礎・基本が身についている。	92.8	94.2	▲ 1.4
18 お子さんは命や人権を大切にし、人に思いやりを持って接している。	97.4	98.8	▲ 1.4
19 お子さんは自分には良いところあると思っている。	94.4	94.0	0.4
20 お子さんは家での勉強時間を決めている。	53.9	52.6	1.2
21 お子さんは自分で計画を立てて勉強している。	50.8	46.3	4.5
22 お子さんの家庭での学習（宿題）は、授業とつながっていると思う。	92.7	89.8	2.8
23 お子さんはタブレット端末を活用した授業はわかりやすいと思っている。	93.1	89.1	3.9
24 お子さんは地域や学校の図書館で本を借りて読んでいる。（読書が好きだ）	60.9	57.5	3.4
25 クラス担任とは違うクラスの先生による交換授業の取り組みは、お子さんにとって良かったと思う。	66.7	-	-

【補足】 「肯定的回答」とは、アンケートの「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計の全体に占める割合をパーセントで表しています。今回のアンケートは、GoogleForm を用いて、タブレットやスマートフォンなどで回答していただく方法で行いました。尚、保護者の回答率は、きょうだい毎にお願いしているためか回答数を児童数 698 名で割りますと 55.9%、回答数を家庭数で割りますと 74.6% となり昨年度なみの回答数となり、紙で実施していた頃に比較して回答率が減少していることに憂慮しています。今後も保護者の皆様の貴重なお声を頂き学校運営に生かしていきたいと考えております。

次に、全学年が関わる児童アンケートの内、対前年比較 5%増以上の項目をあげました。

「授業の最後に、振り返りの時間がある。」については、授業中に「学んだこと」や「学び方」に自分自身が気付きそれを可視化する「メタ認知」が、学習の理解度を増したり次の学習に生かしたりすることにつながるため、大変重要であるとされていますので、今後も期待したいところです。

「自分で計画を立てて勉強している。」については、先に示したとおりですが、校内で意識した影響もあり、前年度からの伸びが大きかったです。

「自分には良いところがある。」については、言い換えると自尊心が以前にくらべて高くなったとも言えます。学校でもご家族からも子ども達の良いところをますます伝えていきたいものです。

「授業でよくタブレットを使っている。」「家で、よくタブレットを使って学習している。」についても、今までの「学び方」の幅を広げる点では大いに歓迎したい結果が出ました。タブレットの活用としては「友達のノートを参照し、自分の学びに生かすことができる。」「考えたことをノートだけではなく、タブレットを活用して記録することができる。」「調べものをするすることができる。」「友達と共有してレポートをつくることができる。」など汎用性の高さを生かすことで学びの質を深めることができているとも言えます。「子ども達が授業の中でタブレットを自分の判断で自由に使うことができる。」ことがこの先のねらいともいえます。これらは、教職員、保護者の方々も「経験したことのない学び」と言えます。これからの日本をつくる子ども達の「学び方」は大きく変化してきています。この学び方が今後の働き方にもつながると考えています。

同アンケートの記述欄に「新しく取り入れる授業の仕方をするのであれば事前に保護者への説明をして欲しい。」「取り入れるにあたり、メリットデメリットをまずは説明して欲しい。」「授業の進め方・行い方に不安がある。」「担任の先生が意図するところが子どもに今ひとつ伝わっていない時があるように思う。高学年で自主性を重んじているのは分かるが、もう少し子ども達に声掛けなどを行って欲しい。出来る子は出来るが、出来ない子はどんどん置き去りにされているように思う。」などの声を頂きました。

目指すは、子ども達を「自律的な学習者(大人)」にすることです。

文部科学省は、児童生徒が「自己調整」しながら学習を進めていくことができるよう指導することの重要性を令和 3 年の答申で述べています。

具体的には、支援の必要な子どもにより重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現することや、子ども一人ひとりの特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行ったり、先生が子ども一人ひとりに応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子ども自身の学習が最適となるよう調整したりすることも必要であるとしています。

ですから、今までのように先生が黒板の前に立ち、子ども達に対して一斉に授業してきたスタイルばかりの授業に工夫が必要であるということです。

既に本校も今年度から「協働的な学び」を研究テーマに掲げ、授業における子ども達の学び方に工夫を凝らしてきました。「学ぶ場所」「学ぶ相手」「学び方」等を「自己調整」「自己選択」することで、子ども達が学びに対して主体的になり、且つ学びは 1 人では成し得ないことに気付き、友達と協働して学ぶことの大切さに気付くことがあるようです。

そのため、項目 35 以降は、子ども達の資質・能力の育成に向けて ICT を最大限に活用して、これまで以上に「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に生かせる項目を上げました。

しかしながらアンケートの記述にもご指摘があるように、その取り入れ方に不十分さがあったことは否めません。今後、改めて校内研究を進め授業改善を行なって参ります。

最後になりましたが、教職員一同、今回のアンケート結果について、改善すべき点を真摯に受け止め、来年度の重点課題として取り上げ取り組んで参ります。

令和6年度 学校教育自己診断アンケート 質問内容 (児童用)		R6年度 肯定的回答率(%)	R5年度 肯定的回答率(%)	対前年(%)
1	学校に行くことはたのしい。	83.4	83.4	▲ 0.0
2	先生は私たちの話や考えをよく聞いてくれる。	93.0	92.6	0.4
3	授業は落ち着いた雰囲気の中で学ぶことができる。	70.5	67.2	3.3
4	授業はわかりやすい。	90.8	89.1	1.7
5	授業の中で「めあて」が示されている。	95.8	96.6	▲ 0.8
6	授業の中で、自分の意見を発表する機会がある。	89.3	87.6	1.7
7	授業の中で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。	73.9	73.9	0.0
8	授業の最後に、振り返りの時間がある。	92.1	85.9	6.2
9	国語の授業の内容はよく分かる。	87.5	-	-
10	算数の授業の内容はよく分かる。	89.2	-	-
11	理科・社会の授業はよくわかる。(3年生いじょうが教えてください)	89.3	-	-
12	生活科の授業はよくわかる。(1年生と2年生がこたえてください)	85.7	80.6	5.1
13	少人数の授業はわかりやすい(6年生のみ)	73.9	82.9	▲ 9.0
14	授業や給食で食の大切さを学んでいる。	84.7	81.5	3.2
15	チャイムと同時に授業が始められるよう準備している。	71.4	68.3	3.1
16	先生は学習や係活動で頑張ったことをほめてくれる。	79.1	79.8	▲ 0.7
17	地震や火災・不審者があったらどうしたら良いか知っている。	97.9	97.0	0.8
19	自分で計画を立てて勉強している。	75.5	65.6	9.9
20	困ったことや分からないことは先生に質や相談がしやすい。	81.9	77.9	4.0
21	担任の先生のほかにも相談できる先生がいる。	80.8	75.9	4.9
22	あなたの気持ちをわかってくれる友達が学校にいる。	93.9	93.2	0.8
23	あなたは、学校生活や友達のことを、おうちの人によく話す。	86.8	85.7	1.1
24	おうちの人あなたの気持ちをわかってくれる。	90.9	91.3	▲ 0.5
25	あなたはあいさつや約束を守ることを大切にしている。	93.3	92.2	1.1
26	いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。	95.3	94.1	1.2
27	自分には良いところがある。	87.4	81.7	5.7
28	授業でよくタブレットを使っている。	93.5	87.2	6.3
29	タブレットを使った授業はわかりやすい。	93.8	89.1	4.7
30	家で、よくタブレットを使って学習している。	57.9	51.4	6.5
31	家や地域の図書館、学校の図書室で読書をしている。(どくしょがすきだ)	71.3	69.3	2.1
32	授業中、ペアやグループで話し合う活動を行っている。	90.7	91.3	▲ 0.6
33	みんなでなにかをするのは楽しいとおもう。	92.2	90.2	2.0
34	家庭での学習(宿題)は、授業とつながっていると思う。	83.1	83.6	▲ 0.5
35	課題や問題を解決するために、様々な方法を見つけ、実行することができる。	72.3	-	-
36	あなたの学級は、授業中間違って笑われない。	74.9	-	-
37	学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。	75.1	-	-
38	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。	59.9	-	-
39	授業では自分にあった方法や学び方を自分で選ぶことができる時間がある。	74.2	-	-
40	授業の中でタブレットを自分の判断で自由に使うことができる。	55.2	-	-
41	違うクラスの先生が教える交換授業は良かった。	87.1	-	-
42	算数の授業で自分の考えを 図や絵や文章で表現したり 説明したりすることができる。	75.1	-	-

